

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390101511		
法人名	株式会社 桜梅桃里		
事業所名	グループホーム和楽の家 みやす二番館		
所在地	岡山県岡山市東区吉井208番地1		
自己評価作成日	平成27年6月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障がい者生活支援センター		
所在地	岡山市北区津高628-1		
訪問調査日	平成27年6月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

桜梅桃里基本理念のもと、スタッフ全員で検討し「私達は、皆様がいつも笑顔で楽しく生活できるように家庭的な温かい雰囲気をつくっていきます」を、二番館の目標としました。もう一つの目標として、「優しい介護」を毎日の介護の中で話し合いながら介護支援していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設して2年目に入り、みやす二番館の目標としている「優しい介護」の実践を心掛け、明るい雰囲気の中で、入居者一人ひとりの残存機能を活かしながら、その人らしく自立した暮らしの支援に努めています。また、地域に密着したグループホームとして地域との交流に取り組んでいる様子が窺えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念をホールの見やすい場所に掲示し、かつ毎月のカンファレンス等で話あっている	みやす二番館の目指す介護「優しい介護」を全職員と共有し実践に繋げていく様日々取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の運動会、お祭り等に積極的に参加している。入居者様と一緒に散歩しながら回覧板を持って行っている	地域の一員としてさまざまな機会を通じて日常的な交流への取り組みに努めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々がボランティアとして元気の出る会を開催されそれに参加、地域の方と交流している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を行っている。その結果は玄関に掲示している。会議での提案を即実践している	運営推進会議で事業所の現状・行事など報告し、出席者からの意見や要望をサービスの向上に活かしています。	地域に密着したグループホームとして理解と支援を得る貴重な機会と捉え、関係者・外部者を交え双方向的会議となるよう取り組まれる事を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターと密に連絡を取って情報を地域の方々に発信している	わからない事や困り事など何かあった時を含め常に連絡を取り、協力関係を築くよう努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	絶対に身体拘束をしないケアを実践している	日々「優しい介護」を心掛けて支援しており、施錠も開放し地域の協力も得ながら拘束しないケアに取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止等の研修を行い、問題意識を持つこと。相手に対して丁寧な言葉使いで接すること等で防止に努めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度に関する情報を共有し、現在の活用状況を理解していく。後見人と入居者様の関係がスムーズにいくよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に契約内容の説明を十分に行い、入居後でも不明な点があればいつでも対応できるよう契約時に、不安、疑問は後からでも聞けるように意見書と返信用封筒をおわたししている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特に面会時、運営に関する要望を聞く機会を持ち、入居者様の希望に沿った生活を送れるよう支援している。いつでも、意見、要望を反映できる投書箱を玄関に設置している	入居者からの要望は会話や仕草から察して、日々の支援に反映する様努めています。また家族からの要望で「たより」を発行し入居者の様子を伝えるなど意見や要望を大切にしたい取り組みが窺えます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行う月1回のカンファレンスでは、毎回業務の見直し項目で全員の建設的な意見を聞く機会を持っている	日頃から意見・気付き・アイディア等が出やすい環境と意識付けに努めています。入居者とのかわりの中でローテーションを見直すなど反映に努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社兼グループホーム事務所で代表者は頻繁にスタッフに声かけ挨拶を交わし自由に意見の言える雰囲気作りが出来ている。又、スタッフのストレス要因について気を配り気分転換の出来る休憩室を確保している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修情報を休憩室にファイルしたり見やすい場所に掲示して自己啓発出来る機会をもうけている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修情報が常にあり、知り得た研修内容をホーム内で勉強会に取り入れて実践している		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で生活状態を把握するよう努め、ご本人が求めている事、不安を理解しようと努めている。サービスの利用について相談があった時は必ず本人に会って心身の状態や思いに向き合い職員が受け入れられる様な関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が求めている事を理解し、事業所としてはどのような対応が出来るか事前に話し合いをしている。家族の苦労や今までのサービスの利用状況などこれまでの経緯についてゆっくり聴くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様 家族の状況などを確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築き必要なサービスにつなげるようにしている。入居後のサービスの為にエピソードシートを家族にお願いしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族的な雰囲気を作り、協力しながら和やかな生活が出来るよう声かけを行っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添い本人と一緒に支える為に家族と同じような思いで支援している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知人、友人が気軽に面会に来られるように努めている	これまで培ってきた人間関係の継続と地域に密着した交流を大切にしたい支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	特に面会時、運営に関する要望を聞く機会を持ち、入居者様の希望に沿った生活を送れるよう支援している。いつでも、意見、要望を反映できる投書箱を玄関に設置している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	これまでの生活環境 支援の内容注意が必要な点について情報提供しきめ細かい連携を心がけている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様一人一人にあった声かけをし顔色、表情を見ながら日常生活の中で本人の希望を傾聴し自己決定しやすいように心がけている	本人・家族等の希望・意向の把握に努め、一人ひとりとの会話を大切にしながら本人本位に検討し日々支援に取り組んでいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までされてきた生活を尊重しながら愛着のあるものを身近に置き安心して頂き、安全安楽に過ごしていただけるよう援助している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の出来る力、わかる力を暮らしの中で発見していくことに努めている。その人らしい暮らし方が出来るように支援している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様や家族に詳細な情報を聞くことにより過去歴や趣味や、したい事、出来る事を聞きその事をスタッフで共有し知り得た情報を生かせるよう、より理解しケア計画を必要に応じて改善工夫しながら作成している	本人・家族・医師・職員など関係者と話し合いながら現状に即した介護計画の作成に努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	誰が読んでも分かりやすく客観的な事実を捉えたままに書くよう努めている。また、記録の書き方勉強会を開き、全員が統一した記録をする事で情報を共有することでより良いケアが出来るよう努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域の行事に参加して頂きながら、その時々ニーズに応じて柔軟なサービスが出来るよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の人や場を借りながら交流を深めていけるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	委託医と看護師、看護師と職員がそれぞれ密に連絡を取り合っており、家族、利用者様が納得のいくよう支援している	往診・受診等、本人・家族の希望するかかりつけ医・協力医へ適切な医療が受けられるよう支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中で、利用者様の変化にいち早く気づき看護師に報告、相談し適切な方法を見つけて支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、利用者様、家族、医療機関のスタッフ、看護師、医師との情報交換を密にし利用者様が早期に退院できるよう支援している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様の容態や家族の意向に沿った看護を職員一同が力を合わせて行っている。その上で、納得した終末期を迎えられるよう取り組んでいる	現在該当する入居者はいませんが、本人・家族の安心と納得が得られる様状況に合わせ方針の統一を図っていく様支援しています。	これからも入居者の自立支援と健康維持に努めながら、全職員で終末期に向けた対応、支援等実践力を身につけていける事を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	万が一の対応のためAEDを設置し職員がみんな使えるよう体験、習得するようにして緊急時のマニュアルの周知の徹底を図っている。また、看護師にいつでも連絡できるよう専用携帯を持っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の利用者様との避難訓練を実施している。また、運営推進会議で協力を呼びかけている	年2回の昼夜を想定した避難訓練を定期的に行っています。また消防士による消防設備器具や消火器使用方法など火災時の消火訓練も実践しています。	火災時の訓練の他、水害、地震等天災害時の対策に取り組まれ、運営推進会議など通じて地域との協力体制を強化していける事を期待します。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの気持ちを大切に多くのイベント参加時の声かけ、誘導時は自己決定しやすい言葉かけをしている	職員と入居者との信頼関係の構築に努めながら一人ひとりのプライバシーに配慮した支援を心掛けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	イベント、食事メニュー等でスタッフの決めた事を押しつけないで利用者様自身で決定できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりの生活ペースを大切に利用者様に合わせた対応を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔を心がけ季節に合わせた服装ができるよう希望時には、一緒に買い物に出る等で支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえ等その人が出来る事を一緒に手伝ってもらい生きがいづくりに努めている	入居者と職員と一緒に食事の準備(味見・盛り付け等)をしながら食の大切さを支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量を記録し健康管理に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その人の状態に合わせた援助方法で口腔ケア、声かけをしている。また、定期的に歯科の往診を受けケアに対してアドバイスを受けている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を記録しその人の排泄パターンを確認しながら誘導や声かけをしている。さりげない誘導と対応で入居者様個々に沿った排泄支援に努めている	入居者一人ひとりに合わせたトイレでの排泄に努め自立への支援に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食時、ヨーグルト、牛乳等の摂取。栄養バランスの良い食事、水分をしっかりと取るなどして便秘予防に努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様の希望に応じて夜間入浴を取り入れたり、一人で入っていただいたり、スタッフは外で見守り安心感をもっていただく工夫をしている。	タイミングを図りながら気持ち良く入浴してもらえる様、時間・声掛け・誘導・職員・家族など工夫しながら個々に添った支援に努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ日中の活動を促し夜間良眠出来るよう生活リズムを整える支援をしている。眠剤を飲まれている方には睡眠状態等歩行状態を確認して転倒防止に努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルの作成や薬情報をファイルしていつでも内容が確認でき服薬時には本人に手渡し服薬が出来ている事を確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活能力に応じて食事作りの手伝い、皮むき、お膳拭き、洗濯物干し、たたみ等に参加してもらっている。行事を計画実施し楽しみ事や気分転換に努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の人数を考慮し入居者様の希望に出来る限り添えるように、家族の協力を頂きながら支援を行っている。	日常の暮らし(洗濯物干し、花の水やり、散歩など)での戸外への外出、毎月車での外出、季節毎行事での外出など外気浴、気分転換をたいせつにした支援が行われています。(外出時の楽しい写真が飾られている)	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談しながら、自ら管理して頂いたり、必要時には管理ノートを作りスタッフ全員で管理し支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の希望に応じ日常的に電話や手紙を出せるよう、また、年賀状をスタッフと一緒に書いたりと支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一部のコーナーにはお年寄りにとって懐かしく感じる昭和コーナーがあり骨董品を設置している 季節感が感じられるよう花を飾り、行事や外出時の写真を飾り楽しみを共有している	日中過ごすフロアーには季節に合わせた作品を飾り明るい雰囲気の中でくつろいで過ごせる様に工夫している様子が窺えました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	たたみのコーナーやテレビ前にソファを設置し利用者様同士のくつろぎの場となっている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の使いなれた物や家具なども居室に設置 利用者様の意向を確認しながらその人らしい居心地の良い居室作りに取り組んでいる	居心地よく過ごせるよう本人・家族の要望を大切にした居室づくりに努めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の心身の状態変化にともない、それに応じた補助用具を使用し対応している車いす、エプロン等。		